

令和5年度
(2023年度)

学校関係者評価報告書

令和5年(2023年) 4月 1日から

令和6年(2024年) 3月31日まで

令和6年(2024年)11月1日

学校法人吉田学園
吉田学園公務員法科専門学校

■令和5年度 学校関係者評価について

〈説明〉

本校が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、教育理念や学校の目標と教育の実態とを照らし合わせ、自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己評価を行った。

1. 実施日時

令和6年11月1日(木) 17:50～18:40

2. 実施場所

吉田学園公務員法科専門学校 7階701教室

3. 実施方法

(1)実施組織:学校関係者評価委員会

○学校関係者評価委員

島口 義久 (札幌狸小路商店街振興組合 理事長)

薩来 翔希 (石狩湾新港管理組合総務部管理グループ)

○学校職員

渡邊 祐美子(吉田学園公務員法科専門学校 校長)

齋藤 勤 (吉田学園公務員法科専門学校 副校長)

中畑 賢一(吉田学園公務員法科専門学校 学科長)

岩城 浩司(吉田学園公務員法科専門学校 副学科長)

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠する。

(3)評価方法:学則、教務内規、学生便覧やシラバスに記載されている教育目標や指導規定、中期学科計画などと照らして各種評価を行い、自己点検・評価委員会を開催し、学校として自己点検・評価を取りまとめている。

4. 評価項目

次の11項目について実施

(1)教育理念・目標

(2)学校運営

(3)教育活動

(4)学修成果

(5)学生支援

(6)教育環境

(7)学生の受け入れ募集

(8)財務

(9)法令等の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

(11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価した。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

① 全体を通しての評価結果に対するご意見、ご質問等

(委員からの意見)

地域貢献の一環で行っている町内清掃活動について、取り組んでいる活動団体(学校)が分かるような方法を検討してみたらどうか。活動者が誰なのか表示する必要性を感じる。

(学校より)

一部、学校名の入ったビブスを着て活動しているが、今後全体にも広めていきたい。

(委員からの意見)

書籍を図書室に在庫する代わりに、電子書籍を用意してはどうか。

(学校より)

図書室の書籍を電子書籍化し、学生が簡単に閲覧できるようにすることは、現在、学生個人所有のPCで授業展開しているためシステム上難しい。

② 学校に対するご意見、ご要望、ご質問

(委員からの意見)

公務員に限らず若者の中途退職が大変多い現状を受けて、学校として就職内定をゴールとするのではなく、入職したあとに耐えられる人材育成も大事にしてほしい。また、多岐にわたる仕事の内容を卒業生のネットワークを利用して学生に伝えてほしい。

(学校より)

卒業生等に、仕事のやりがいや待遇の良さだけでなく、大変さや辛さも話してもらい機会を創出し、現実的な部分を伝えていくことが大切だと考える。これまでモチベーションアップのために魅力的な部分を中心に伝達することが多かったが、指導の全体感を意識し職種研究について検討していく。

(委員からの意見)

卒業生等に来校してもらい、対談形式で録画をしたものを学生に閲覧してはどうか。

(学校より)

卒業生を呼んで仕事内容等を録画して学生に提供していくことを検討していく。

6. その他

(1) 以下、令和5年度 学校自己点検・評価報告書を併せてご覧ください。

項目1 教育理念・目標

・項目評価 4.0

・全ての項目について適切と評価

項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目3 教育活動

- ・項目評価 3.9
- ・(3)-6について、学内における合同職種説明会の新規実施や施設見学会等、積極的に職業教育実施を試みたが、十分とは考えていない。取組内容の一層の充実を図りたい。
改善策として、各自治体・省庁が実施する職業説明会を学生に周知し、積極的に参加するよう働きかける。また、学生の参加状況を把握するため報告書等の提出を義務付け、学生の職業(職種)理解や進路意識の向上を図る。

項目4 学修成果

- ・項目評価 3.6
- ・(4)-4について、卒業生の卒業後の動向、就職先(各自治体・省庁)での経験や活躍等を把握できておらず、学校の教育資産としての蓄積・活用が不十分である。
改善策として、卒業生の年度毎、職種毎の名簿を作成し、学校独自の同窓生交流機会を計画する。また、現在(2024年度)は、会員管理クラウドサービスを活用し、名簿作成や情報発信を行っている。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目6 教育環境

- ・項目評価 3.7
- ・(6)-1について、学生数に対して、図書の書籍数は十分とは言えない。
改善策として、適正な書籍数となるよう、毎年、一定量の図書を購入し続けていく。

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目8 財務

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目11 国際交流

- ・本校において留学生の受け入れがないため、評価を割愛したことを報告。

以 上